

## 引揚記念館企画展

### 抑留と交流と - 木内信夫絵画に見るウクライナ抑留 -

昨年寄贈いただいた抑留経験者の木内信夫氏による抑留体験画「わが青春の浪漫抄」から原画28点とスライド画像37点を展示します。

木内氏による抑留画は過酷な状況ばかりでなく、ドイツやハンガリーなど他国の捕虜兵士をはじめ、ロシアの少年たちとの交流を描いた絵画も多く、抑留史を多面的に捉えることのできる貴重な資料です。

【日時】2月3日(月)～4月23日(水)9時～17時

【場所】引揚記念館

【入館料】300円

▶詳しくは、引揚記念館(☎68・0836)へ。



▲木内信夫作「わが青春の浪漫抄」より

## 見て、感じて、触れて、楽しい発見をしよう!

### KTR体験フェア

【日時】2月22日(土)9時30分～16時

【場所】西駅交流センター、KTR西舞鶴運転所

【内容】

- ◆あおまつ号の展示(車両基地での乗車体験)
- ◆チャットマンやゆるキャラが登場
- ◆KTRアテンダントと記念写真(子ども用制服・駅帽をかぶって写真撮影)※カメラを持参してください
- ◆ご当地駅弁や栗田駅の「幸せぶりん」などを販売
- ◆プラレール、Nゲージの展示 ◆ピンゴ大会 など

▶詳しくは、KTR利用促進協議会(宮津市役所企画総務室内、☎0772・45・1601)へ。



▲由良川鉄橋を走るあおまつ号

## 日展の入選作品などを展示

### 高井晴美 日展 10回入選記念展

陶芸家の高井晴美さんが、第45回日展 第4科(工芸美術)に入選されました。日展における入選が今回で10回目となり、これを記念し、作品展を開催します。

【日時】2月1日(土)～16日(日) 9時～17時

【場所】まいづる智恵蔵

【内容】日展の入選作品など7点を展示

【その他】入場無料

▶詳しくは、文化振興課(☎66・1019)へ。



▲高井晴美さん



▲日展入選作品の「滄望」

## 舞鶴市文化事業団

### 文化情報総合サイトを開設

文化事業団では、市内で開催されるイベントや活動しているアーティスト(個人・団体)、文化施設情報を登録・閲覧できる文化情報総合サイト「まいづる文化情報」を開設しました。

【登録できる情報】

- ◆イベント情報(市内で開催されるもの)
- ◆施設情報(市内に所在地がある施設)
- ◆アーティスト情報(市内で活動するアーティスト)

【登録サイトURL】<http://mai-bunka.net/>

▶詳しくは、文化事業団(☎64・0880)へ。



▲写真はサイトのイメージ

## 海フェスタ京都

### シンボルマークと標語決まる

7月19日(土)～8月3日(日)に舞鶴市を中心に府北部5市2町で開催する「海フェスタ京都」に向け、全国公募していたシンボルマークと標語が決定しました。応募総数はシンボルマーク308作品、標語1,088作品。

採用作品は下記のとおりです。

今後、ポスターやパンフレット、ホームページなどで活用していきます。

《企画政策課》

シンボルマーク

標語



▲深川重一さん(65歳、大阪府)

海フェスタ  
京都と結ぶ  
海の道

▲小田中準一さん(62歳、千葉県)

## 舞鶴消防創設70周年

### 記念誌(CD-ROM)を作成

舞鶴消防創設70周年を記念し、舞鶴消防の歴史を長く後世に伝承するため、記念誌(CD-ROMのみ)「MAIZURU FIRE DEPT. 70th Anniversary ～我らのあしあとそして未来へ～」を作成しました。舞鶴消防の歴史や現勢、災害の記録、統計などを掲載。防災センター、東・西図書館で貸し出ししています。

▶詳しくは、消防本部(☎66・0119)へ。



▲記念誌データが入ったCD-ROM

## 農業ボランティア

### 多くの支援 ありがとうございました

市では、昨年9月の台風18号で被災した農地の早期復旧のため、9月25日～12月27日に「農業災害ボランティアセンター」を開設。

期間中の土・日・祝日に加佐地区をはじめ市内26の被災か所で、市内外を合わせ延べ326人のボランティアの皆さんに用排水路の泥上げ、果樹や茶棚のごみの除去、破損したパイプハウスの撤去などの作業をしていただきました。

この台風により、市内の農地に甚大な被害を受けましたが、ボランティアの皆さんの温かいご支援により、農業再生への一歩を踏み出すことができました。ご協力ありがとうございました。《農林課》



▲ボランティアの皆さんの活動の様子

## 効率的な運営・管理、再生に向けて

### 公共施設のあり方の検討を進めています

市では、公共施設のあり方を検討するため、所有する139の公共施設について調査を実施。現状と課題および、今後、公共施設を管理・運営していく上での基本的な考え方を「公共施設マネジメント白書」として平成25年3月にまとめました。

これに基づき、公共施設の効率的な運営・管理、再生に向け、幅広い意見を聞くことを目的に、市民および学識経験者9人からなる「公共施設あり方検討市民会議」を昨年12月に設置。3月までの会議の中でいただいた意見を十分に参考にしながら、「公共施設再生基本計画」を策定し、公共施設の有効活用や再配置について検討を行っていきます。

《企画政策課》



▲第1回公共施設あり方検討市民会議の様子